

特別研究員申請書チェックリスト：申請者名

指導教員名

各チェック項目を満たしている場合は確認欄にチェック✓をしてください。
 確認欄が灰色になっているチェック項目は、3段階評価(○△×)で記載してください。

- 研究計画(1)研究の位置づけ
- 研究計画(2)研究目的・内容
- 裏面：目指す研究者像、全体

| 項目 | ポイント | 確認 |
|------------------|--|----|
| 課題名 | 研究課題名の文字数制限(40字以内)を逸脱していないか | |
| | 研究課題名と申請内容はあっているか | |
| 研究者情報 | 研究者番号、所属は間違っていないか | |
| 研究計画(1)研究の位置づけ | 申請者の研究を含めた広い領域における研究の重要性を簡潔に述べているか | |
| | これまでのその領域における未解決問題や申請者の研究の問いや問題点を述べているか | |
| | 未解決問題や申請者の研究の問いが、どこまで解決できているかを述べているか | |
| | 問題点、課題などから解決すべき点が明示されているか | |
| | 国内外の関連する研究の中で、当該研究の位置づけや意義が明示されているか | |
| | 「着想の経緯」が明確に記述され、申請者だからこそできる、自らすすんでやりたいという意欲がアピールできているか | |
| | 上記について参考文献や根拠が明示され記述されているか | |
| 研究計画(2)研究目的・内容等 | 研究目的、研究方法、研究内容について、それぞれ記述されているか | |
| | 研究目的を直接的な表現で述べているか(例:「研究の目的は○○である」など) | |
| | 未解決問題や申請者の研究の問いなどの解決のために、申請者が採用した解決方法や手段がわかりやすく記述されているか | |
| | 問題を解決できる新しいアイデア・手法・コンセプトを提案しているか | |
| | 他の研究者が持っていないノウハウ、知見、実験結果などをアピールできているか | |
| | 研究方法、研究内容は計画性がわかる記述になっているか | |
| | 何を、どこまで明らかにするのが明確に書かれているか | |
| | 先行研究と比較し、本研究の特色、着眼点、独創的な点が書かれているか | |
| | この研究のオリジナリティは何か、申請者しか持ち得ないオリジナリティが読み取れるか | |
| | 本研究が完成した場合に申請者の研究領域もしくは他の研究領域にどのような展開が期待できるかを説明できているか | |
| | 本研究が完成した場合に、社会に対してどのような影響を与えるか、それがいかに重要であるかを説明できているか | |
| | 所属研究室としての研究活動の一部と位置づけられる場合、申請者が担当する部分が明示されているか | |
| | 所属機関外で研究を行う場合、その旨とその理由が記載されているか | |
| 受入研究室の選定理由(PD) | 受入研究室を知ることとなったきっかけ、及び、採用後の研究実施の打合せ状況を記載しているか | |
| | 申請の研究課題を遂行するうえで、当該受入研究室で研究することのメリット、新たな発展・展開が記述されているか | |
| 人権保護及び法令等の遵守への対応 | 関連する法令が適切に記入されているか | |
| | 関連する部局細則が適切に記入されているか | |
| | 特に相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取扱い配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に取り組む必要とする研究などは、対策と措置を記述されているか | |
| | 上記に該当する研究については、研究機関内外の情報委員会や倫理委員会等における承認手続きについて、実施状況を具体的に記述しているか | |

3段階評価(○△×)

特別研究員申請書チェックリスト

| 項目 | ポイント | 確認 |
|------------|--|----|
| 研究遂行力の自己分析 | これまでの研究活動を踏まえて研究遂行能力をアピールできているか | |
| | 観点を項目立てするなどの工夫をしているか | |
| | 研究に関する自身の強みについて、その根拠となるこれまでの研究活動の成果物(論文等)を示しながら記入しているか | |
| | 成果物(論文等)を同定するに十分な情報を記載できているか(論文の著者、題名、掲載誌名、発行所、巻号、pp開始頁ー最終頁、発行年)(研究発表の著者、題名、発表した学会名、論文等の番号、場所、月・年) | |
| | 学術論文の査読の有無を区分して記載しているか | |
| | 査読のある学術論文の場合、印刷済及び採録決定済のものだけとし、査読中・投稿中のものは除いているか | |
| | 研究発表の口頭・ポスターの別、査読の有無を区分して記載しているか | |
| | (1)自分自身の強みを踏まえ、今後発展するために必要な要素を記載しているか。 | |
| 目指す研究者像等 | 目指す研究者像に向けて身に付けるべき資質も含め記入されているか | |
| | 自身に投資することが、日本の将来のためになるという視点で述べられているか | |
| 体裁 | 余白が1割を超えていないか | |
| | アンダーライン・太字等文字修飾が適切に使用できているか | |
| | 文字サイズ(10ポイント以上)等、指定の形式が守られているか | |
| | 複数の強調法が混在していないか | |
| | スペースのバランス配分は適切か | |
| | 図はグレースケールでも見やすいか | |
| | 図中に使用する文字のサイズが小さすぎないか | |
| | 表や図の中の文章の改行位置は適切か | |
| 全体 | 研究計画(目的・方法)、研究期間で整合性が取れているか | |
| | 予想される疑問・反論に備えているか | |
| | 主張や考えが客観的な根拠や理由でサポートされているか | |
| | 専門的すぎる用語が使用されていないか | |
| | 過去、現在、未来、普遍的なこと、のそれぞれについて時制が適切に使用されているか | |

3
段階評価(○△×)

3
段階評価(○△×)